

たかさご未来資産を貯めようプロジェクト提案型実証事業に係る検証

1 概要

事業者	システム
ためま株式会社	ためまっぷ
事業目的・概要	
<p>包摂的コミュニティプラットフォームである「ためまっぷ」を活用し、高砂市内企業の社員とその家族や住民を対象に、多様な地域参加の情報掲出という社会的処方アプローチを行い、その利用継続意欲を測る。</p>	

2 KPI・評価指標

KPI・評価指標	単位	目標値	実績値	達成度(%)
1 投稿(コンテンツ)	件	100	317	317%
2 閲覧者数	名	200	1,503	752%
3 利用後のアンケート (ポジティブな反応)	%	70	90.2	129%

3 その他参考

<p>通勤族を含む浜手企業社員が半数程度と見込まれるアンケートで、「今後も利用したい」との回答が70.6%、「地域に参加したい」または「参加した」との回答が80.4%であった。</p>
--

4 実証事業の検証結果

事業の検証	検証結果	①実装、検討するもの ②参考にするもの ③実装しないもの
	②	
コメント		
事業の検証	<p>実証目的、目標における設定値が低いと考えられる。結果から閲覧者数は一定あるが、アンケート数が極端に少なかった。 アンケートからは、ポジティブな反応が高いこと。投稿内容の偏りや見づらさを指摘する意見があった。また、最適なカテゴリやニーズに応じたコンテンツの充足が重要と考える。評価にて、考察していただいたように、利用者のニーズ把握や、継続した投稿ができるよう投稿者の確保に向けた取組が必要である。実証では、企業と自治会を含む地域を繋げるものとして取組んだが、自治会における他の活動には対する意見があった。さらに、地域イベントの情報を知り、参加することによる評価も必要であったと考える。今後の展開において、参考とする。</p>	
検証の視点	目的	実証の取組において「目的」が明瞭に示されているか。
	目標	「目的」に対して論理的な「目標」が設定できているか。
	結果	「目標」に対する指標が、定量的または定性的に「結果」として示されているか。また、「結果」の考察が十分にされているか。
	評価	「目的」に対する実証が実施できたか。 今後の展開に向けた考察や課題に触れられているか。